

授業科目	こどもの保健Ⅱ (CD クラス)				単位	2		
履 修	選択	関連資格	保育士		ナンバリング	CH11305J		
開講年次	2年	開講時期	前期	該当DP	DP1-2 DP2-1			
担当教員	藤田 稔子							
授業概要	【実務家教員担当科目】 実務家教員として、疾病を持つ乳幼児を見てきた経験を活かし、子どもによく見られる病気について解説し、保育をしていく上での配慮点等を示していきます。さらに子ども達の事故防止のための安全管理および安全教育の重要性を踏まえ、発達段階に応じた関わりを深めていきます。							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 子どもの病気(こころの問題も含む)と保育上の配慮点が理解できる 2. 子どもによく見られる感染症および園における感染症対策が理解できる 3. 保育における衛生管理、安全危機管理を理解、考察できる 4. 発達段階に即した保健教育が考案でき、適した教材が準備できる 							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	60	0	0	0	10	30	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)	60				10		70	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)						30	30	
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)								
態度 (DP4-1)								
態度 (DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
子どもの病気の特徴や基礎的な知識を踏まえて、保育の場面において、体調不良や病気を持っている子どもへの個々の配慮点が答えることができる。				保育の場面において、体調不良や病気を持っている子どもへの個々の配慮点が答えることができる。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法		学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)
1	テーマ:子どもの病気の特徴、子どもと先天異常 子どもの病気の特徴を解説し、保育士として配慮しなければならないことを考えていきます。また、代表的な			講義		予習:教科書 110～113 ページ を読むこと 復習:ノート整理		45

	先天性の病気について解説します。			
2	テーマ:子どもと感染症 子どもによくみられる感染症について説明し、その出席停止期間を意味を抑えます。また、保育現場における感染症対策について解説します。	講義	予習:教科書 114～115、159～168 ページを読み、前回講義に提示された「予習編」を解いてくる 復習:ノート整理と講義終了時に提示された「復習編」を解く	60
3	テーマ:子どもと呼吸器・循環器の病気 子どもによくみられる呼吸器系および循環器系の病気について解説し、保育上の配慮点を考えていきます。	講義	予習:教科書 116～119 ページを読み、前回講義に提示された「予習編」を解いてくる 復習:ノート整理と講義終了時に提示された「復習編」を解く	60
4	テーマ:子どもと血液の病気・悪性腫瘍 子どもによくみられる血液の病気や小児がんについて説明し、保育上の配慮点を考えていきます。	講義	予習:教科書 120～121、124～125 ページを読み、前回講義に提示された「予習編」を解いてくる 復習:ノート整理と講義終了時に提示された「復習編」を解く	60
5	テーマ:子どもの消化器・泌尿器・生殖器の病気 子どもによくみられる消化器系の病気、特に腸炎を説明し、嘔吐下痢の際の処理の方法等を解説します。その他、泌尿器や生殖器の病気も取り上げます。	講義	予習:教科書 122～123、128～129 ページを読み、前回講義に提示された「予習編」を解いてくる 復習:ノート整理と講義終了時に提示された「復習編」を解く	60
6	テーマ:子どもと脳神経系の病気 子どもによくみられる痙攣系の病気について説明し、痙攣発作時の対応や日常生活管理を示します。また、子どもによくみられる脳神経系の病気も取り上げます。	講義	予習:教科書 81～92、126～127 ページを読み、前回講義に提示された「予習編」を解いてくる 復習:ノート整理と講義終了時に提示された「復習編」を解く	60
7	テーマ:子どもの精神保健 子どもの精神保健にかかわる基本的な病態・治療を解説し、特に習癖などの子どもへの日常生活におけるケアについて事例も交えながら考えていきます。	講義 演習(GW)	予習:「保育の心理学1・2」「障がい児保育1」を復習しておく 復習:ノート整理と講義で提示された「復習編」を解く	60
8	テーマ:子どもと皮膚・骨・眼・耳・鼻の病気 子どもによくみられる各種病気とその観察点および保育上の配慮点などについて解説します。	講義	予習:教科書 130～133、136～139 ページを読み、前回講義で提示された「予習編」を解いてくる 復習:ノート整理と講義終了時に提示された「復習編」を解く	60
9	テーマ:子どもと口腔の病気 1 乳歯と永久歯の違い、口腔内の病気について説明し、特にむし歯のメカニズムを解説します。	講義	予習:教科書 134～135、101～108 ページを読み、前回講義で提示された「予習編」を解いてくる 復習:ノート整理と講義終了時に提示された「復習編」を解く	60
10	テーマ:子どもと口腔の病気 2 正しい歯磨きと年齢に応じたブラッシング方法の実技演習をおこないます。	実技演習	予習:教科書 106～108 ページを読み、前回講義に提示された「予習編」を解いてくる	15
11	テーマ:子どもと内分泌・アレルギーの病気 子どもによくみられる病気について説明し、特に慢性疾患を持つ子どもの日常生活の支援について解説し	講義	予習:教科書 140～143 ページを読み、前回講義で提示された「予習編」を解いてくる	60

	ていきます。		復習：ノート整理と講義終了時に提示された「復習編」を解く	
12	テーマ：子どもの事故 子どもによく起こる事故について知り、その原因を医学的観点から解釈していきます。また、それらを通じ保育現場での留意点を考えていきます。	講義	予習：教科書 144、170～178 ページを読み、前回講義に提示された「予習編」を解いてくる 復習：ノート整理と講義終了時に提示された「復習編」を解く	60
13	テーマ：保育現場における保健教育 1 今までの学びを踏まえ、保健行事に関連する保健教育で用いる教材を作成する。	演習	予習：保健教育の題材を考えてくる 復習：次回で完成できるように教材づくり	15
14	テーマ：保育現場における保健教育 2 前講の続きである教材を完成させる。	演習	課題を仕上げる	60
15	テーマ：まとめ 「こどもの保健2」の総復習をします。	講義	予習：全 14 回のノートを見直す 復習：定期試験勉強	120
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	1 年で学修した「保育の心理学1・2」「こどもの保健1」「保育内容の研究・健康」「障がい児保育 1」「乳児保育 1」を踏まえた科目です。今までの学修した内容を復習しておいてください。			
テキスト	心とからだを育む 子どもの保健 1、高内正子(編著)、保育出版、2012、2,381 円+税			

参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	講義は基本的にパワーポイントを用いておこない、教科書にない資料は別途プリントで配布します 参考にして欲しい雑誌:チャイルドヘルス
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	スライドを丸写しするのではなく、必ず自分の言葉でノートづくりをしてください。ノートづくりをする中で、関心のある事項についてはぜひ調べ学習にも取り組んでください。 最初に子どもの体調不良に気付くのは医師や看護師ではありません。子ども達の最も身近にいる保育士や幼稚園教諭が気付いて対応しなければ大変なことになります。そのためにも本科目の知識は大切です。内容は難解で量も膨大ですが、頑張って学習してください。質問はいつでも受け付けますので、分からないことを置き去りにしないようにしてください。
達成度評価に関するコメント	(1)試験: 定期試験期間中に 15 回の内容満遍なく出題する持ち込み不可の定期試験を実施します (2)レポート外の提出物: 14 回目に完成させる保健教育の教材を評価します (3)その他: 講義の内容をノートにまとめてもらいます。そのノートを評価していきます。ノートは、スライドの丸写しではなく、自分の言葉で分かりやすく書かれているか、調べ学習がされているか、等を重点的に見ていきます。また、ノート以外にも、授業中の取り組み度 (good job 印鑑) や自己評価も評価の参考とします